

児童・生徒の現状・課題

- ・与えられた役割を果たし、他者との共同作業を重んじることができる。
- ・自ら進んで計画を立てて学習する「自己調整力」に課題がみられる。



学び続ける力を育むための重点目標

- ・ICTを効果的に活用した学習活動を通して、生徒が自ら課題を設定し、他者と対話しながら考えを深める場の充実を行うことで、学び続ける力を育成する。



具体的な手だて①

- ・授業の導入時に学習課題や本時の目標を明確にすることで見通しをもたせる。

具体的な手だて②

- ・他者と対話しながら考えを深める場面を設定する。(ICTの活用)
- ・生徒が学びを共有したり修正したりする場面を設定する。

具体的な手だて③

- ・学習課題や目標に対して、理解度や達成度を自己評価させ、次に生かす学びを生徒自身の言葉で記述する。



校内で共有し、授業改革を日常化するための工夫

- ・授業改革シートを活用した相互授業観察を実施する。
- ・理論(指導課指導主事安本先生の講演)と日々の授業での実践の一体化を行うことで、着実な指導力の定着につなげる。

児童生徒調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(5月)	結果(1月)
①自分から進んで計画を立てて学習している。	74%	85%	
②授業のはじめにこれまでの学習を振り返ったり、取り組む課題やめあてを確認したりしている。	71%	85%	

教員調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(5月)	結果(1月)
①授業では、振り返る場面を設定し、次の目標をもったりできるようにしている。	77%	85%	
②授業では、生徒が選択した学びを相互で共有したり修正したりする場面を設定している。	72%	85%	

総括(5月)

教員が授業内で、「明確な目標」と「振り返り」の時間を確実に確保し、次の学びへの繋げ方を考えさせることが、生徒の自己調整力を引き出すことを促す。また、教員間で「深い学び」の具体像を明確に共有することで、目的意識をもった授業設計の実践につながる。

総括(1月)